

地域毎の課題を特定して解決策を支援

- ・地域のメインプレイヤーが一堂に会して、特定した課題について解決策を掘り下げて議論するプラットフォームとして、「地域経済活性化フォーラムin多度津」を開催
- ・このフォーラムを契機に、「まちづくり組織」創立など課題解決に向けた取組が本格化

概要

- 香川県多度津町は、古くから海上、陸上交通の要所として発展し、また、鉄道や電力など四国における近代産業発祥の地として、数々の遺産が残されている。
- しかしながら、同町として、これら魅力ある資源が「まちづくり」や「地域の活性化」に十分に活かされていない等の課題が認められた。



- そこで、平成29年12月22日、少林寺拳法発祥の地、同町の金剛禅総本山少林寺において、「歴史と文化と伝統のまち多度津町の魅力づくり」をテーマに地域金融機関など22機関、78名が一堂に会して、課題に応じた実効性のある解決策について議論した。

取組の成果と今後の展開

【取組の成果】

- プレゼンテーションを行った6機関から、RESASや現地調査を踏まえた現状分析に基づく、「まちづくり組織」の創立、産業観光施設の活用、古民家や空き家の活用などの提言のほか、他地域の成功事例について紹介。
- 同フォーラムを契機に、「まちづくり組織」の創立に向けた取組などが進展しており、地域の課題解決に向けての取組が本格化しつつある。

【今後の展開】

- 今事務年度内に、提言のブラッシュアップや新たな課題・あい路について意見交換を行う実務者会合を開催し継続的に支援。
- 第2弾として、愛媛県八幡浜市において、「廃校となった学校施設の活用」などの課題について議論するフォーラムを平成30年5月に開催予定で、1月から予備会合を重ねている。